

～大阪府からの1ターン

新田格三さんへの

インタビュー

- 職業：無職
- 家族構成：妻・子ども2人
- 移住歴：1年2カ月
- お気に入りのスポット：高見山



インターネットで『古民家』と検索して住まいを探したという新田 格三さんは、大阪府から移住してきた。「飯高は川がきれいで空気がうまい自然環境の豊かな地域。夜には高見山で天体観測をしているが、星が綺麗に見える良いスポットだ」と語る姿を見て星空は確かに綺麗だなと私も思った。

そんな会話の中で地域の心配事として、交通の便が悪いことを挙げていて「高校までは良いけど卒業したら、どうしても市外に出て行ってしまおう。タクシーなどは松阪駅前から飯高町までは距離が遠くて割に合わないらしく走ってくれないので地域の足としてマイクロバスでいいから年寄り向けに用意出来ないだろうか」と今後の検討課題も話された。

——何か取り組みたいことがありますか？

アイデアマンの新田さんは「松坂城跡などは、櫓（やぐら）を立てたらもっと良くなる。行政で難しいのであれば、地域に寄付を募ったら良いのではないかと思う。また、季節の花を道沿いに植えて、例えばアジサイロードみ



『川・空気・星がきれい』

たいのがあれば観光客等が更に来るのではないか。また、獣害で悩んでいるので鹿や猪のジビエ料理で新たな名物を創ったり、山や土地があるのでバギーやゴーカーのコース等があれば若い人が呼べるのかもしれない。それらを有名人やアーティストなどにプロデュースしてもらおうと新しい発見があるかもしれない」と。松阪にはいろんな資源があることを改めて痛感すると共に、活用しないともつたいたいと日々考えている新田さん。

——移住を考えている方へ、アドバースをお願いします。

移住する人は、周囲の方に何があっってお世話になるかわからないのだから、自分から溶け込むように努力をしなければいけません。



——これからやってみようことは何ですか？

「ユニボやブルドーザーなどの重機を購入し自分の家の前を整備したいと考えています。更に農業などをして地域おこしを皆で出来ればと考えていますが、農業の事はまだ分からないので趣味ではなく地域貢献のために学んでいきたい」と抱負を話していた。